

武藤賞を受賞して

金沢大学 大学院 医学系研究科
脳医科学専攻 脳細胞分子学講座 脳情報分子学
郡山 恵樹

この度は栄えあるレチノイド研究会の第1回武藤賞に選ばれ大変嬉しく思います。この度の研究会テーマが「再生医療とレチノイド」でしたので私の「合成レチノイド Am80による中枢神経保護・再生作用」というテーマは運が良かったように思います。

我々の研究室では「中枢神経の修復・再生」をテーマのひとつとしております。ヒトでは一度、脳外傷、視神経障害、脊髄損傷が起こると麻痺や失明、運動機能障害といった重篤な後遺症をもたらします。しかし、魚類では脊髄や視神経を損傷させても一定期間後に完全な機能修復（運動機能・視覚機能ともに回復）が見られます。我々の研究室では魚類の視神経再生をモデルとして再生に関わる分子を同定し、そのメカニズムを解明することでほ乳類の中枢神経再生を可能にさせたいというコンセプトで研究を行っております。中でも実際にレチノイド研究に関わるようになったきっかけは神経再生分子としての「レチノール結合タンパク質:プルプリン」の発見にあります (Matsukawa et al., J. Neurosci. 24, 8346-8353 (2004))。視神経再生中の魚類網膜から同定したプルプリンは、これまではほ乳類では同定できておりません。しかし、魚類からクローニングしたプルプリンをウイルスベクターによりラット網膜神経節細胞に強制的に発現させると損傷後神経の修復と再生が促されました。これをきっかけにほ乳類におけるレチノイドの中枢神経再生研究をはじめ、エコファーマやトランスレーショナルリサーチの概念から既存医薬である「合成レチノイド Am80」を選択し、現在の研究に至ります。

この賞を励みに、レチノイドがヒトの健康により役立つ研究へと昇華させられるよう一層の研鑽を積む所存です。ありがとうございました。また、本研究の遂行にご協力いただいた多くの関係諸氏に深く感謝申し上げます。



首藤紘一会長（右）と武藤賞を受賞した郡山恵樹先生



郡山恵樹先生